

自分で考え、他者と協働し、社会に貢献できる人

校長 小坂 茂生

今年度、横浜旭陵高校より4月1日に着任いたしました。

私は、1987年から1996年の9年間、この舞岡高校で保健体育科の教員として勤務していました。こうして再び職員として舞岡高校に戻ってこれたことを大変喜ばしく思っています。

さて、3月に舞岡高校のスクールポリシーがホームページに掲載されました。学校概要よりご覧になれますので、是非、見ていただきたいと思います。

本校の最上位の目標は「自分で考え、他者と協働し、社会に貢献できる人（生徒）」を育てることです。それをスクールポリシーの中で次の3つの柱にしました。

「自分で考え」は「**自分と社会をより良く変えていく力**」

「他者と協働し」は「**他者と協働できる心**」

「社会に貢献できる人（生徒）」は「**豊かな人間性と社会性**」

この最上位の目標を基に作成されたスクールポリシーを踏まえ、私は4月5日の入学式で次のような話をしました。

今日、皆さんに、この3通の資質を踏まえ、お願いしたいことが2つあります。1つは、舞岡高校での生活をスタートさせるにあたり、皆さんに求める資質の「自分と社会をより良く変えていく力」の中の「自分をより良く変えていく力」という言葉を今日心に刻んでもらいたい、ということです。

高校の3年間は自分の将来を形作る3年間です。そのために何をしなければならぬか？まずは「学習」です。これを疎かにしては自分の将来は作れません。では、どうやって学習に向かうのか？これまでは授業は「受けるもの」であったと思います。しかし、高校の授業は「取り組むもの」です。さらに言うと「主体的に取り組む」ことが必要です。

主体的に取り組む学習を重ねることで、「将来、どんな自分になりたいか？」が少しずつ見えてきます。と同時に、学力はもとより「生きる力」が確実に自分の中に育っていきます。また、学習に主体的に取り組めれば、全ての高校生活にも主体的に取り組めます。

そうすれば自ずと3年間の高校生活は充実したものになるでしょう。このように何事にも主体的に取り組める自分へと、変化させていってください。

もう一つお願いしたいことは「他者と協働できる心」や「豊かな人間性と社会性」

を高める3年間を送ってもらいたいということです。

昨年度は、東京、北京。2つのオリンピックとパラリンピックが開催されました。オリンピックでは世界中から集まったトップアスリートが力と技を競い合いました。また、パラリンピックでは様々な障害のある選手たちが、オリンピックの選手と同じように限界にチャレンジしました。皆さんは、その姿から「共生社会」について何か感じ取ることにはできたでしょうか？2つのオリンピック、パラリンピックでは「人権の尊重」が大きなテーマでした。

皆さんは、人種、肌の色、性別、言語、宗教、障害のあるなしなど、あらゆる面での違いを自然に受け入れ、互いに認め合うことのできる広い視野を持った人であること。そしてその感性を常に磨いくことをお願いします。これからの開かれた時代、多様性を尊重し合い、共生社会の一員としての意識を高め、グローバルな社会を感じつつ高校生活を送ってもらいたいと思います。

着任したばかりで日常の生徒の様子や授業の様子はまだ見ていません。本日より授業が始まりました。校長室にじっとしてられない私は、早速、全ての教室を回り授業の様子を見てきました。前任校でもそうしてきましたが、舞岡高校でも1日に1回はすべての教室を回り授業の様子を見て回り、気づいたことは教科担当の先生がたと話をしながら共通理解を図りたいと思います。

そして、次回からの校長室よりには、見て、聞いて、感じたことをお伝えしたいと思います。



校長 小坂茂生